

令和7年度 中小企業人的資本経営支援事業【大学連携】レポート

東京都中小企業振興公社では、中小企業と大学が連携して、双方の学び合いの機会を創出する支援を実施しています。令和7年度は、3つの大学と都内の中小企業延べ6社が連携し、様々な取り組みを実施しました。

大学連携の開催目的について

1. 中小企業が越境による「学びのシェア」を体験しながら、組織的に「人的資本経営」に取り組みやすい環境を作っていく。
2. 中小企業と大学や企業間におけるネットワーク構築の機会を創出していく。
3. 学生に対して、中小企業に関する興味や関心、知識を得る機会を創出することで、中小企業におけるビジネスの在り方、働くことの意義や理解を醸成していく。

令和7年度の取り組み内容

- ① 中小企業の採用活動に関して学生と企業間で意見交換し、学生が就活者視点でPR策を提案。
- ② 中小企業が新規事業開発プロセスを学生にレクチャーし、学生とともにビジネスモデルの立案を実施。
- ③ 中小企業が学生に向けて自社の紹介やキャリア（働くこと）について講演授業を実施。

参加企業からの声（アンケートより抜粋）

- ・ 学生目線で企業のHPがどう見えるのか、企業側では気づけないヒントをたくさん頂けた。
- ・ 学生とのグループディスカッションでは、様々な質問をし合うことができ、とても貴重な時間だった。
- ・ 学生がキャリアに対して真剣に向き合う姿勢が高まってきていると感じる。
- ・ 今の学生が持つ就活への価値観を知る貴重な機会になり、大変学びになった。
- ・ 学生との関わりを通じて、多くの刺激や学びを得ることができた。今後も参加できれば嬉しく思う。

学生からの声（アンケートより抜粋）

- ・ 中小企業の情報はインターネット上にあまり掲載されていないので、貴重な情報源となった。
- ・ 今まで大企業しか見て来なかったが、中小企業は自分が主役になれる可能性が高いことがわかった。
- ・ 実際に働いている方の話を直接聞ける機会はなかなかないので、非常に貴重な経験となった。
- ・ 企業理念と自分の価値観があっているかどうかの大切さがわかった。今後の就活で重要視していく。
- ・ ビジネスを考えることは簡単なことではない。この経験を学生のうちに経験できたことは財産になる。

